



・・・ 新刊本紹介 ・・・

本の名前	書いた人	出版社
のうだま	上大岡トメ	幻冬舎
「秀吉の首」はどこに消えたか	三宅孝太郎	ベストセラーズ
幕末史	半藤一利	新潮社
昭和天皇の履歴書		文藝春秋
美しい日本のふるさと 中国・四国編	清永安雄	産業編集センター
世界がもし100人の村だったら 完結編	池田香代子	マガジンハウス
面白いほどよくわかる官庁&官僚のすべて	斎藤ヒサ子	日本文芸社
国民を元気にする国のかたち	江口克彦	PHP研究所
なぜ無実の人が自白するのか	スティーブン・A・ドリス・イン	日本評論社
世界金融恐慌	奥村宏	七つ森書館
女が嫌いな女		文藝春秋
ずるい人に騙された時どう生きるか	加藤諦三	PHP研究所
COOL JAPAN		マガジンハウス講談社
女性の仕事全ガイド '10年版		成美堂出版
満足できない女たち	田中亜紀子	PHP研究所
恐ろしい「振り込め詐欺師」の話術。	角田浩司	マーブルトロン
すごい空の見つけかた	武田康男	草思社
薬剤師になるには	井手口直子	ペリかん社
いい音を楽しむオーディオの事典	上田高志	成美堂出版
簡単木工家具STYLE		主婦と生活社
スカーフ、ストール&マフラーアレンジ140	ナリ・ベルグ・ユン	ワトバ・ソウキエティ
メレンゲ細工完全テクニック集	鈴木広明	旭屋出版
祖父母に孫をあずける賢い100の方法	棒田明子	岩崎書店
ママの声、聞こえるよ	筒井好美	朝日新聞出版社
プロデューサーの報告書	フィリップ・カニエール	みすず書房
GOTH	乙一	角川書店
猫を抱いて象と泳ぐ	小川洋子	文藝春秋
長くつきあった彼と別れたあなたへ	野中圭一郎	すばる舎
ダブル・ファンタジー	村山由佳	文藝春秋
金魚生活	楊逸	文藝春秋
公務員の給与はなぜ民間より4割高いのか	北見昌朗	幻冬舎
こんなに変わった歴史教科書	山本博文	東京書籍
墓石の下には眠らない	黒田麻由子	朝日新聞出版社
ガリレオがひらいた宇宙のとびら	渡辺潤一	旬報社
左ききのトリセツ	実吉達郎	グラフ社
炭とことん活用読本		農山漁村文化協会
自治体の観光政策と地域活性化	中尾清	イマジン出版
Focus in the Dark 科学写真を撮る	伊知地国夫	岩波書店
パリテキ	黄晰暎	岩波書店
ふたりの季節	小池真理子	幻冬舎
警官の紋章	佐々木譲	角川春樹事務所
断絶	堂場瞬一	中央公論新社
大金星	水野敬也	小学館
ほうき星 上・下	山本一力	角川書店
古代出雲の原像をさぐる・加茂岩倉遺跡	田中義昭	新泉社
知識ゼロからの幕末維新入門	木村幸比古	幻冬舎
まつを媪(おばば)百歳を生きる力	石川純子	草思社
学力と階層	苅谷剛彦	朝日新聞出版社
手足でポン! スタンプペインティングBOOK	鳥垣英子	いかだ社
<決定版>キッチン・バス・トイレリフォーム実例&徹底ガイド		学研

読まんかね

February. 2009 vol. 45

隠岐の島町図書館

〒685-0014
 島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二・17-1
 tel : 08512-2-2341 fax : 08512-2-9198
 e-mail : s-tosho@mx.miracle.ne.jp



・・・ 隠岐の島町子ども読書応援団講演会 ・・・

『家読(うちどく)で読みニケーション
 ~読書で家族の絆を深める』

講師：佐川二亮先生

日時：平成21年2月22日(日) 10:00~11:30

会場：五箇生涯学習センター

講師プロフィール

学校での「朝読(あさどく)」に続いて、家庭でも「家読(うちどく)」しよう!!
 家族みんなで本を読んで、読んだ本について語りあう。家族で同じ時間を共有することで家族の絆が深まります。

全国に広まっている家読(うちどく)についての具体的な方法や取り組み方についてお話いただきます。

1947年(昭和22年)福島県矢祭町生まれ。株式会社トーハン広報室長、出版社メディアパル社長、朝の読書推進協議会顧問。95年に「朝の読書」提唱者林公氏と大塚笑子氏に会い、「朝の読書」を全国の学校に普及させるため朝の読書推進協議会を発足させて「朝の読書」運動に取り組む。2006年11月に「朝の読書」の家庭版として家族の絆を深める「家読(うちどく)」運動を提唱。現在、「家読(うちどく)」運動の草の根運動に取り組んでいる。

・・・ 2月の休館日・・・
 2(月) 4(水) 5(木) 6(金) 7(土) 8(日)
 9(月) 10(火) 11(水) 15(日) 16(月) 23(月)

この他にも新しい本がたくさん入っています。新刊本のコーナーをチェックしてみてください。



主催：隠岐の島町子ども読書応援団実行委員会 共催：隠岐の島町図書館

お問い合わせは隠岐の島町図書館(2-2341)まで

・・・ 語りの集い開催・・・

～ふるさとの民話を楽しもう～

日時：平成21年2月28日(土)14:00～15:00

会場：隠岐の島町図書館研修室

昨年発足した「隠岐民話の会」の方々に、古くから隠岐に伝わる民話を語っていただきます。民話を聞いて懐かしい幼少時代を思い出しませんか？

・・・暮らしに役立つ図書館講座開催・・・

『言葉の力、文の力』

講師：高橋一清先生

日時：平成21年3月7日(土)13:30～15:00

会場：隠岐の島町図書館研修室

敏腕編集長のお話を聞きにきませんか？参加料は無料でどなたでもご自由に参加できます。

・・・蔵書点検が終わりました・・・

長らく休館にし、ご迷惑をおかけしました

8日間休館にしておこなった蔵書点検が無事終わりました。

今年は例年よりたくさんの方のボランティアの方にご協力いただき、よりスムーズに作業を行うことができました。毎年お手伝いいただいている方は、いかに早く進むか工夫をこらして作業をされていました。また、今年初めてボランティアに来られた方にアドバイスをしたりと、とても和やかな雰囲気でした。

ご協力いただきありがとうございます。蔵書点検をして、今年も行方不明の本がたくさんリストアップされました。貸し出しの手続きを忘れていた本などありましたらお返しく下さい。

不明資料の詳細は次号に掲載します。



・・・ミニコンサート・・・

ミニコンサート告知文。隠岐グリーンクラブのみなさんによるミニコンサートを行います。日時：平成21年3月13日(金)18:30～ 会場：隠岐の島町図書館雑誌コーナー

講師のついで

(社)松江観光協会観光文化プロデューサー。昭和19年益田市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、(株)文藝春秋に入社。多くの作家デビューに立ち会う。「別冊文藝春秋」編集長、「文春文庫」部長、「文藝春秋臨時増刊」編集長を経て、現職。芥川賞、直木賞作家を最も多く文壇に登場させた編集長といわれている。

あるボランティアさんの感想

ここ何年か参加している蔵書点検のボランティアに今年も参加した。蔵書点検は、今、隠岐の島町図書館にある8万冊近い蔵書を年に一度棚から出して棚を拭き、本も1冊ずつ表・裏・背表紙・天(上)・地(下)・小口(背の反対側)と6つの面を拭いて、バーコードを読み取りデータベース(目録)と照合します。行方不明の本も多数・・・(もし、返し忘れていた本があったら、そっと図書館へ・・・)

初めての年は絵本コーナーで、美しい色彩、かわい絵につい手がとまり、次の年は辞書のコーナー、ここには見たこともない辞書がずらり並び・・・郷土資料、趣味、エッセイ、紀行、歴史書、日本の小説、写真集、哲学、科学、そして表紙が素敵・・・変わった題名・・・等々、まさに本だらけです。

今年は料理本のコーナーで、お弁当、ケーキに手がとまり、?年前にこの本を見ていたら少しはちがったお弁当だったかも・・・ふわふわいんな想いをめぐらせながら終了。

図書館の職員、集まった老若男女多くのボランティアみんなが心をこめてきれいにした本が出番を待っています。あなたの手にとまりますように。図書館へおいでませ。

・・・展示コーナー & 特集コーナー・・・

展示コーナー

町のアーティスト展

蒼永家ふたり展

町のアーティスト展の第2弾は、中村にお住まいの富永利治さんと亡き奥様静子さんのふたり展です。利治さんの隠岐の風景の切り絵や、静子さんのさおり織の作品などを展示します。素敵な作品ですので、ぜひご覧ください。

展示期間

2月20日(金)～3月29日(日)

特集コーナー

相撲

幕下全勝優勝、十両に昇進となった隠岐の海関の紹介と共に、相撲に関する本を紹介しています。昨年の隠岐の島町場所の取り組みの写真も展示しています。

えほんコーナー

たび・りょこう

絵本の世界で世界中を旅しませんか。旅・旅行に関する本を紹介しています。さあ、どこに行こうかな・・・。お気に入りの場所を見つけてください。

・・・1月の利用状況報告・・・

Table with 5 columns: Year, In-library visitors, Loans, Loans issued, Registered users. Data for 20th, 19th, and comparison.

・・・1月によく読まれた本ベスト10・・・

- 1位 すごい空のを見つけかた 武田康男 草思社
2位 公務員の給与はなぜ民間より4割高いのか 北見昌朗 幻冬舎
3位 モンスター・ペアレントのありえないジョーク集 上田小次郎 CCRE
4位 トキオ 東野圭吾 講談社
5位 アルペジオ 新津きよみ 講談社
6位 生死を分ける災害時とっさの判断力 三雲大 樫出版社
7位 菜種晴れ 山本一力 中央公論新社
8位 オール ミッション2 山田悠介 角川書店
9位 どこから行っても遠い町 川上弘美 新潮社
10位 本当に生きて日 城山三郎 新潮社

・・・図書館職員オススメの一冊・・・

『ぼくには数字が風景に見える』 ダニエル・タメット著 / 古屋美登里訳 / 講談社



今月は吉崎が紹介します

私のオススメは、数学と言語に天才的才能を持ち、サヴァン症候群とアスペルガー症候群である著者ダニエル・タメットが自分の半生を描いた、こちらの一冊です。

『1』は輝く白い色、『4』は内気で物静か、背の高い人を見ると『9』を思い起こす...。これは、すべてダニエルが見る数字の世界です。彼によると、すべての数字は性質や感情を持っており、難しい計算も視覚化することで瞬時に解くことができるといいます。

彼の数字を中心とした世界は興味深く、驚きに満ちていましたが、それと同じくらいに幼少期からこれまでの彼の体験した喜びや苦しみ、そして、周りの人間関係などに心を打たれました。

これを読むと個性を伸ばすことの大切さや、自分らしさというものを考えさせられます。